



復旧工事の入札が終わり、施行業者が現場の下見に来られています。2月15日には復旧工事打合せ会が行われ、いよいよ改修工事が始まろうとしています。

小学部(知的障害部門)

寒さの厳しい季節になりましたが、小学部では、多くの学年がたこ揚げをしました。思い思いの絵を描いたり、イラストを貼ったり、好きな色のテープの尾をつけたりした手作りのたこを持って、運動場を元気いっぱい走り、楽しい時間を過ごしました。



1月28日の学部集会では、栄養教諭の横山先生の話をお聞きしました。風邪のウィルスに負けない元気な体をつくるために必要な、3つの栄養素についての説明や、その日のメニューに入っている材料が3つの栄養素のどの仲間に入るのかをイラストを使って分かりやすく説明してくださいました。1年で1番寒い時期ですが、元気に過ごすことができるように、運動や食事、手洗いなどに気を付けていきたいと思っております。



中学部(知的障害部門)

3年生は高等部の入学者選抜に向けて、年明けから面接練習や過去の問題に取り組んで、本番に備えました。また、普段の生活の中でも、話を聞く姿勢や身だしなみ、あいさつなどに気をつけながら準備を続けてきました。1月25日には、緊張しつつも、全員元気に検査を受けることができました。



2年生は、1月23日に進路学習として「大樹倉敷作業所」(就労継続支援B型事業所)に行きました。

さをり織りやゴム部品の加工作業を体験したり、利用者の方が働いている姿を見学したりすることで、これからのような力をつけていけばよいかを知ることができました。



高等部(知的障害部門)

高等部3年生の進路は、ほぼ全員が決まりました。それぞれの事業所から「採用通知」が学校に届けられます。学校で採用決定を祝福する会を開き、本人に直接採用通知を手渡し、就労するための自覚を高めていきます。

その後、生徒本人および保護者、就労先、ハローワーク、市町村の福祉関係の方などが必要に応じて集まり、移行支援会議を開きます。その会で、学校卒業後、本人を支えていく役割分担を確認し、安心して社会に出て行くことができるようにしています。このように多くの人に支えていただくことによって、就労による社会参加が実現していきます。



肢体不自由部門

ボランティアの先生に来ていただき、毎年恒例の書初めとお茶会を行いました。先生がお手本をしてくださると、いつもとは違う雰囲気を感じたようで、真剣な表情で見入っていました。その後、お手本に倣って、書初めをしたりお茶を点てたりして、新春の雰囲気を味わうことができました。



1月17日、卒業生を囲む会に卒業生2名と事業所の方が来てくださいました。卒業後の事業所での生活について詳しくお話してください、それぞれの卒業後の生活について考える参考になりました。久しぶりに会った卒業生が活躍している様子を見て、在校生も意欲が高まった様子でした。

